



あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

09.28 NO-24

4年生の習字教室！

4年生では、宇部市の伝統文化推進事業の一環として、伝統工芸品である赤間硯を使った習字教室を行いました。

～伝統文化推進事業とは～

ふるさとの文化財・工芸品の本物に触れたり、地域の人々と触れ合ったりする活動を通して、伝統文化に関する教育の充実を図り、児童のふるさとへの誇りと愛情を育むことを目的とする。

習字教室では、まず赤間硯を紹介する動画を視聴し、その歴史や特徴について学びました。続いて、講師の先生から赤間硯について詳しい説明をしていただくとともに、習字のマナーや基本的な作法について教えていただきました（右写真）。そして、いよいよ赤間硯を使った書写体験です。



①硯に水を入れ、墨をすって墨液をつくりました。

無色透明だった水が少しずつ黒く変化していく様子を目の当たりにした子どもたちは、真剣な表情で黙々と墨をすっていました。

②筆の持ち方や動かし方を確認しながら、実際に筆を動かすイメージをみんなで確かめました。

③いよいよ文字を書きます。既製品の墨液ではなく、自分自身ですった墨で文字を書くことに、子どもたちはいつも以上の緊張感をもっているようでした。一画一画に気持ちを込めながら、集中して筆を運ぶ姿が印象的でした。



①



②



③

今回の習字教室では、赤間硯を使って墨をするという貴重な体験を通して、書写の楽しさや奥深さを味わうことができました。また、地域の伝統工芸品に実際に触れることで、ふるさとの文化や歴史への理解も深まったことと思います。これからも地域のよさを学び、ふるさとを大切にする心を育ててほしいと願っています。